



(一財)松本ものづくり産業支援センター

NEWS

第12号

令和6年4月発行



中小企業大学校サテライトゼミ「女性リーダー研修」開催 (R6.1.17~18)

関連記事 5P



サザンガク：「みんなで健康経営」
セミナー開催 (R5.8.31)



テクニカルショウヨコハマ 2024 出展 (R6.2.7~9)

関連記事 13P

ものづくり産業支援のワンストップサービスを目指します

1 アドバイザー・コーディネーターの紹介	3P
2 活動トピックス	
ものづくり支援担当	4～8P
杉本 守 アドバイザー	
豊口 稔 コーディネーター	
広橋 修 コーディネーター	
相吉 一浩 コーディネーター	
I T 支援担当	9～10P
野尻 和彦 コーディネーター	
宮島 正孝 コーディネーター	
3 サザンガクからのお知らせ	11～12P
4 活動報告	13P
5 補助金のお知らせ	14～15P
6 入居企業募集のお知らせ	15P

関係機関（市外局番 0263）

松本市 産業振興部 商工課 工業振興担当／健康産業推進担当
TEL34-3270 FAX34-3008 TEL34-3296 FAX34-3297

松本市 産業振興部 農政課
TEL34-3221 FAX36-6217

松本商工会議所 中小企業振興部ものづくり支援グループ
TEL32-5350 FAX32-1482

信州大学 研究推進部 産学官地域連携課
TEL37-2087 FAX37-3049

（公財）長野県産業振興機構 松本センター
TEL40-1780 FAX47-3380（長野県松本合同庁舎内）

1 アドバイザー・コーディネーターの紹介

専門性の高い6名（ものづくり支援担当4名、ICT支援担当2名）のアドバイザー・コーディネーターを配置し、地域の中小製造業の皆様へのきめ細やかな支援を実施しておりますので、ご活用ください。

ものづくり支援担当



杉本 守 アドバイザー

松本市工業ビジョンの見直しを受け、ビジネスマッチングなど経営力向上に向けた経営支援全般や各種補助金申請支援だけでなく、生産性向上や人手不足対応を狙いとしたDX[※]やゼロカーボンに向けたGX[※]技術の推進を支援いたします。

- ① マッチング支援など経営力向上に関わる支援全般
- ② 新技術開発、新商品開発、新事業開発支援
- ③ 国、県、市の各種支援制度の申請支援
- ④ DX（IoTによるものづくり工程の見える化、工程改善～専用機～ロボット導入による自動化）やGX（ゼロカーボン技術開発など）に関する支援



豊口 稔 コーディネーター

松本市工業ビジョン中間見直しの5つの重点推進事項を念頭に、企業の皆様と課題を共有して、商品開発から販路拡大まで支援を行います。また、関係機関と連携して新たな課題（人材、DX、GX）に対応、見える化支援 などに取り組んで参ります。

- ① 企業間の強みを結び付け、新価値創造を支援
- ② 食料品産業、伝統的産業などの商品開発・販路開拓支援
- ③ 各種展示会出展支援、新規市場開拓支援



広橋 修 コーディネーター

松本市工業ビジョンが示す「松本市の特性を生かした新たな活力の創造により高い競争優位性を持った地域」を目指し、5つの推進事項を推進するため、最もベースとなる「人材」と「現場力」、「製品力」の強化に向けた支援を行います。

- ① 製造拠点の現場力強化（QCD+PSME）支援
- ② 製品力強化（新技術・新製品開発、ビジネスマッチング）支援
- ③ 次世代を担う、ものづくり人材の育成支援



相吉 一浩 コーディネーター

現在、多くの企業が業態を変革し、生き残る道を探さなければならない時代、自分自身も常に新たなことにチャレンジし、地域企業の皆様と、世の中になく製造現場を目指し、その先にはそれぞれの企業のお客さまの期待を超える、新しい価値創出の実現に向けて、支援してまいります。

- ① IE技術を活用し、製造力強化（工場／工程設計、自動化／合理化／省人化等）支援
- ② 次世代ものづくり人材の育成
- ③ 企業連携による、新たな価値創出に向けた支援

ICT支援担当



野尻 和彦 コーディネーター

DX・デジタル化の推進を実現するため企業内業務の課題を把握し、ICTをうまく活用することによる改善策を検討・検証し課題解決できるようご支援していきます。

ICT[※]に関連する新しい名称・キーワード・製品情報など日々のニュースなどでも毎日のように報道されています。リスクリングのテーマはもとより、企業活動に必要な技術や能力を高めていき、最終的には企業変革につなげていく分野になります。



宮島 正孝 コーディネーター

- ① DX活動に向けてデジタル化診断等を活用した現状把握と課題の整理
- ② アナログからデジタル化促進、デジタル化されたデータ分析・活用の支援
- ③ 経営者向け、一般社員向け、小中高生向けなど、対象別にセミナー、研修会等を開催
- ④ サザンガクにおける企業活動の活性化及び起業、創業、事業発現支援
- ⑤ ホームページ開設、ウェブショップ開設、OAソフト活用などICT関連支援
- ⑥ ウェブやメールによる各種施策、研修会情報等の情報発信・情報提供など

※ DX(Digital Transformation) デジタル化により社会や生活の形・スタイルが変わること

※ GX(Green Transformation) 温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取り組み

※ ICT（情報通信技術）：Information and Communication Technology

2 活動トピックス

ものづくり支援担当

杉本 守 アドバイザー

1. 中信地域自動化推進ネットワーク事業

●自動化見学・相談会 2月

松本市の中小企業 2 社が参画されました。

ロボットシステムインテグレーター（RB Sler）である塩尻市(株)サイクス様のご協力を得て、各種アイテムの自動化事例を紹介、各メーカーのロボットの実機を見ながら製造現場の自動化のポイントを説明していただきました。

本事業の特徴は、詳細なご相談ができますよう各社毎日程を調整しそれぞれの具体的なニーズ・課題をお聞きし深堀できることです。

今後は参画企業のニーズを受け、(株)サイクス様のご担当が当事業参画企業へ訪問し現場を見ながら次の施策を決めていきます。また、中信地域自動化推進ネットワークとして自動化推進アドバイザーなど専門家同行による個別支援も必要に応じ進めて参ります。



(株)サイクス ロボットラボ（複数メーカーのロボットを常設）

●AMR デモ・講演会 3月13日

コア塩尻にて 企業等 33 名参画

ご講演講師 シナノケンシ株式会社 代表取締役常務 金子行宏様

シナノケンシ(株)様のご協力により、AMR の講演とデモを行いました。AMR とは Autonomous Mobile Robot の略称で、自律走行搬送ロボットと呼ばれています。

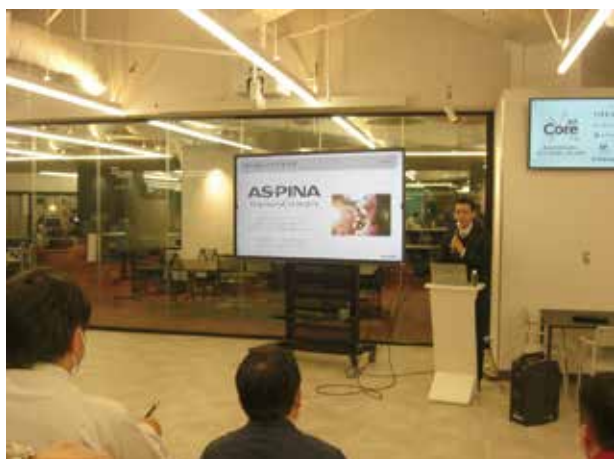
AspinaAMR の特徴は、SLAM 機能（周囲の環境地図を作成、自己位置を推定・自動で経路探索しつつ目的地まで走行）を搭載し事前にガイドの設置は不要で障害物や人を自ら回避して走行するため人との協働が可能になっています。また本体サイズが W600mmxD600mm とコンパクトで中小企業の狭い通路でも走行可能であることです。

参加者からは

- ・ AMR / AGV の特徴や分類などの情報に関し金子常務の意見も加えてお聞きすることができ勉強になりました。
- ・ AMR の実演で実際の動きを確認でき、活用のイメージに繋がる機会となりました。

一方、講演者側からは

- ・ 各企業の課題・ニーズを直接伺うことができ今後の進め方に反映したいとのコメントもあり、実りある講演会・デモとなったのではないかと思います。



金子常務 ご講演風景



AspinaAMR デモ風景

2. MONOist「FA 難民」を救うヤマハ発動機のスマート工場とは

<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2209/07/news024.html>

ヤマハ発動機のスマート工場に関し、戦略だけでなくスペック／コストもオープンにされていますので、自動化を検討されている企業様には一読の価値があると思います。

大手企業であればスマート工場＝デジタルツインに向けた自動化投資は容易だと考えがちですが、本事例によると、個別テーマごと必要なスペックを分類し投資対効果があるテーマに対しコストが見合う技術開発を自社で行うか他社技術を導入するかを選別し、その結果としてヤマハとしてのスマート工場化に向け進展している戦略を伺うことができます。

一式 30 万円で済む、小型ロボットと小型コンピュータボード「Raspberry Pi」を使った AI バラ積み小物ピッキングであれば、400 万円の協働ロボットとは違って、導入してみようとなる。目的に応じて手段を組み合わせ、選択提案するというのはこういうことではないかと考えています。

中小企業大学校サテライトゼミ「女性リーダー研修」 開催しました！

中小企業大学校三条校のサテライトゼミ「女性リーダー研修（基礎編）」（講師 上岡 実弥子 様）を独立行政法人 中小企業基盤整備機構^(※1) 関東本部 人材支援部の主催、松本商工会議所と松本ものづくり産業支援センターの共催、松本市の協力により令和6年1月17日(水)～18日(木)の2日間、松本商工会館601号室にて開催しました。

対象者は、初めて部下を持つ女性リーダーや、管理者候補として期待される女性社員の方々と、松本市を中心に県内各地から定員の15名を上回る17名の方が参加されました。

講師の上岡先生は、株式会社キャラウィット^(※2)の代表取締役を務められ、リーダーシップや問題解決などの社員研修やコンサルティングで全国を飛び回っている著名な方です。

1日目は「リーダーに求められる役割」や「信頼関係を築くコミュニケーション」について、2日目は「人材育成の考え方と部下への指導方法」について、最後に「ありたいリーダー像」（自身の個性や感性を活かしながら、職場内でリーダーとして組織やチームに貢献していくための今後の働き方）を発表し合いました。上岡先生の歯切れのよい講演とワークショップ中心の参画型カリキュラムで、終始柔らかな雰囲気、参加された方々からも高評価をいただきました。



【モチベーションアップ】＜テキストから一部を紹介＞

- 1) CS（顧客満足度）と ES（従業員満足度）は会社の両輪
- 2) 能力 × モチベーション = 成果



(※1) 中小企業基盤整備機構は経済産業省が所管する独立行政法人で、国の中小企業政策の中核的な実施機関です。起業・創業期から成長期・成熟期に至るまで、幅広い支援メニューを提供し、中小企業の成長をサポートしています。また、中小機構が運営する中小企業大学校は、経営者や管理者向けの実践的な研修を通じ、中小企業を支える人材の育成を支援しています。



(※2) 【経営理念】 一般的なビジネスコンサルタントの域に留まらず、「一緒に、楽しく、仕事を向上、成功させよう」という広い視点、姿勢で取り組みます。また事業と言えども、眉間にしわ寄せ、利益追求ばかりでは息詰まってしまう。本来、何故この仕事をしたいのか、それによって社会的に、あるいは個人としてどのように生きたい

のかという本質を忘れずに、お客さま共々、楽しく仕事に取り組みたいと考えています。

【社名由来】 キャラウィット＝キャラット (Carat)＋ウィット (Wit)です。・キャラット (Carat)＝ダイヤモンドの単位、輝くイメージ。そして「キラッと光り輝くもの」「忘れてはならない大切なもの」「核になるもの」などの意味も含みます。・ウィット (Wit)＝機知に富んだアイデアとユーモア、楽しむことを忘れない姿勢というスピリットの表明です。

令和6年度は「脱炭素経営の進め方」と「若手リーダー研修」の2講座を計画しておりますので、奮ってのご参加をお願いいたします。

※人材育成などのご相談は、松本ものづくり産業支援センターまでお問い合わせください。

広橋 修 コーディネーター

ヤマサグループ 5S活動継続優秀賞を受賞

ヤマサグループ（株ヤマサ、ヤマサマテリアル(株)、松本マテリアル(株)）は、まつもと5Sプロジェクトで初めて「5S活動継続優秀賞」をグループ受賞しました。

ヤマサグループにおける5S活動は、2017年から現在まで7年間に及びます。

この間の活動は、その質・量ともに飛躍的な進化を遂げ、会社経営の基盤強化及び将来人材の育成に大きな成果を上げています。

まつもと5Sプロジェクト専任講師平井勝則氏の指導の下、平井式レベル評価にて金賞の上位レベルである「5S活動継続優秀賞」の受賞となりました。

（株）ヤマサの大久保会長及び北爪社長が当初から今日まで鋭意一貫して5S活動に関わり、経営幹部を指導されてきたことが大きな成果の表れになっています。

その成果は

- ①作業効率の向上
- ②作業安全の確保
- ③管理者の職場指導力の向上
- ④社員同士及び部署間のコミュニケーションの多様化

などに顕著に表れています。

「トップの姿勢と推進体制が5Sの原動力」の典型的な例となっています。



まつもと5Sプロジェクト（松本商工会議所共催）

まつもと5Sプロジェクトに参画してみませんか。
県登録専門家の平井勝則氏が指導します。
月1回、2時間の5S指導（有料）が標準です。
各種改善活動の土台となるのが5Sです。

多くの事業所のご参加を
募集しています

率先垂範



相吉 一浩 コーディネーター

内容一新した改善研修会の開催

昨年までの改善研修会では、概論として全体を理解して頂くような構成にて進めてきました。

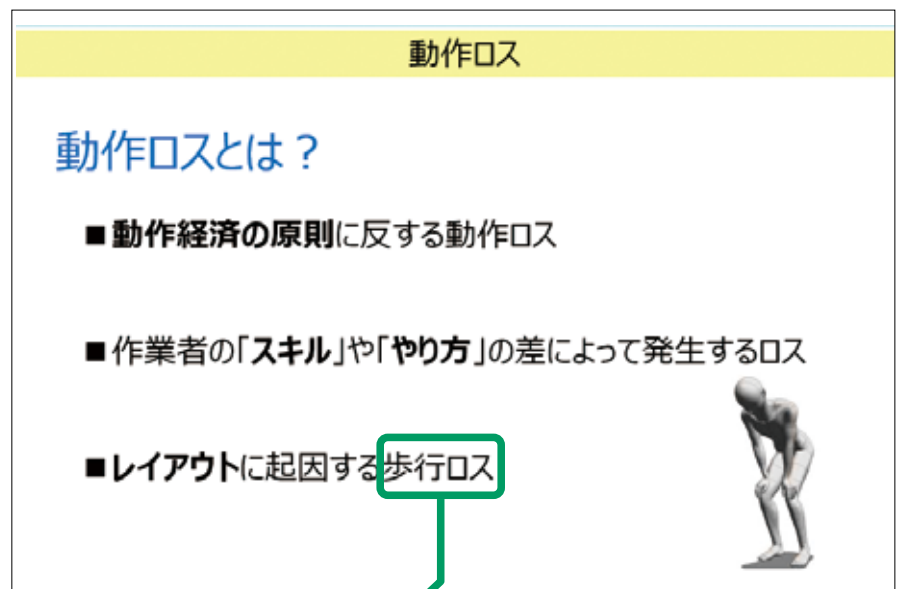
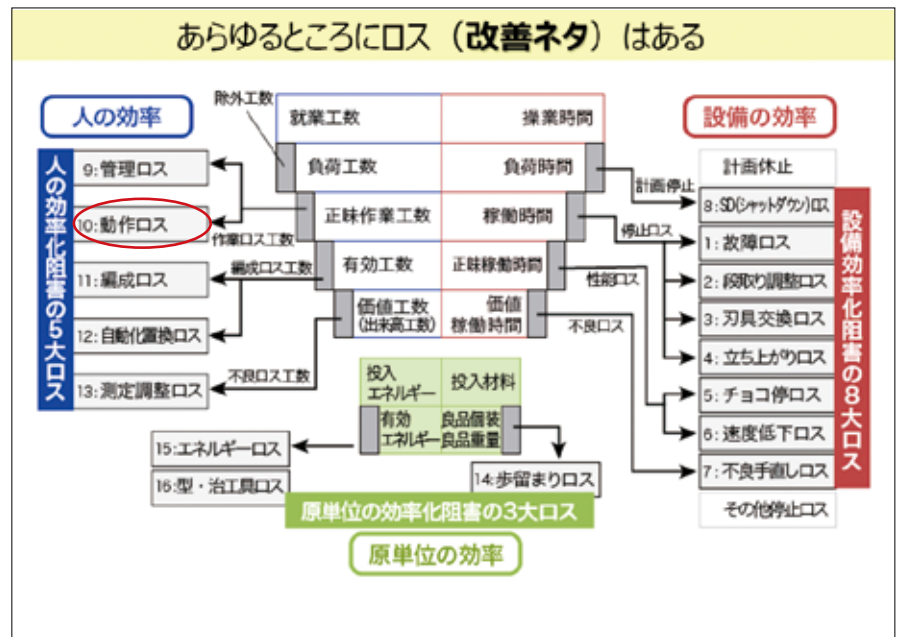
今年からは、実際の困りごとに特化した内容の研修会を要望されるケースが増えて来たので、予め右図にある製造現場の16大口スの内、興味が多いもしくは課題の多いロスについて調査を実施しました。(計23社)

その結果、多くの企業が人の効率を阻害する「作業ロス」に集中しており(図中赤丸)その中でも特に要望の多かった【動作ロス】の改善について、今期は的を絞った研修会を実施してきました。

この動作ロスは大きく分類すると、右図の3つのタイプがあります。

会社の実態に合わせ事例紹介を織り交ぜながら、理解を深めて頂く構成に内容を変更し、それぞれに対する改善手法についての解説をするようにした事で、より実践的でかつ効果的な研修会になって来ています。

今後も概論と、ニーズに併せた実践的な内容を組み合わせた研修会を適時実施していく事で、各企業の製造現場の底上げを支援していきます。



一步 = 一秒 = 一円

ICT支援担当

野尻 和彦 コーディネーター

宮島 正孝 コーディネーター

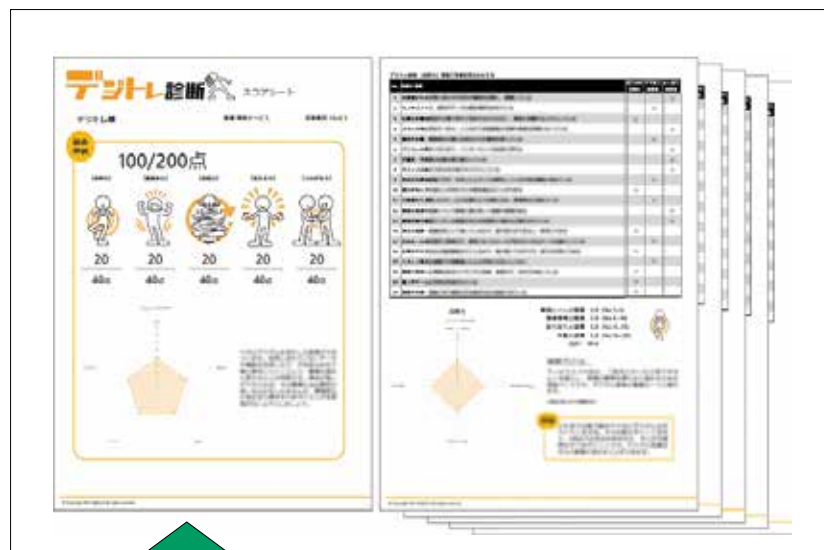
自社のデジタル化を加速させる「デジトレ診断」の活用

令和5年度より、自社のデジタル化状況を把握し、課題を抽出するためのツールとして「デジトレ診断」を導入しました。年度末までに6社14件の診断を実施しました。

- ・100の設問を通じて、自社の課題発見を支援
- ・デジタル化活動レベルの可視化
- ・活動の方向性明確化へ役立つ

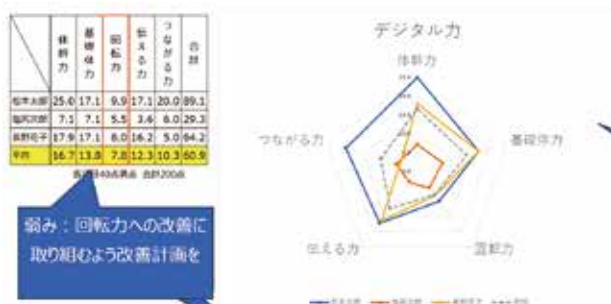
これらのメリットを踏まえ、来期も継続的に利用することで、各社のデジタル化活動を支援していきます。

デジトレ診断からのレポートをセンターでも集計・分析し、課題分析に役立つような支援をしていきます。



デジトレ診断の
レポート結果

当センターで分析し、
仔細レポートを作成し
改善活動の支援に活用



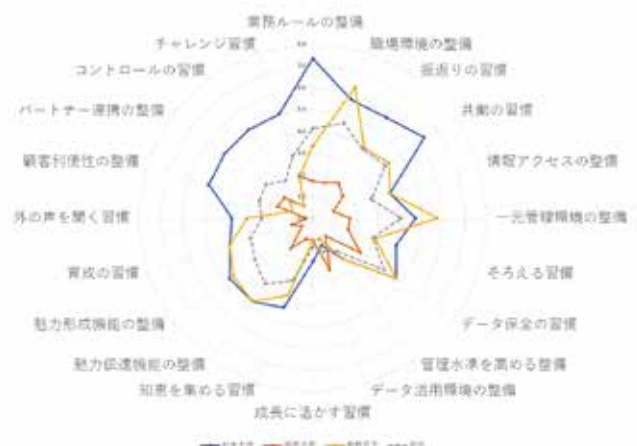
【考察】

デジタル力（5項目）：
レベル差はあるがほぼ同じような形状から大きくなると会社の傾向として判定してよい
レベル差は、IT部門と利用者からの観点の差か？基礎力の項目で判定差が多い箇所を明確にした方がよい
平均的に基礎力の「体幹力」「基礎体力」は整備されてきているが「回転力」が弱み

デジタル力（20項目）：
レベルの大きな個所の判定理由をヒアリングして確認することを推奨
改善計画を立案

個々のデジトレレポートを集計し、
会社全体を俯瞰、分析できるように
加工し課題抽出に役立たせ

詳細デジタル力





生成 AI（ChatGPT）活用の際に気を付けたいこと

今や生成 AI は業務に実用的に活用できるレベルに進化しており、業務効率化に役立つ仕組みとして大注目されています。しかし、使用上の留意事項も多く、それらを正しく理解したうえで使用しなくてはなりません。

生成 AI の使用上の注意点は、大きく分けて以下の 2 つが挙げられます。

1) 情報漏洩や不正利用のリスク

生成 AI は、入力されたテキストを元に新たなテキストを生成します。そのため、プロンプト（AI に問い合わせをする際の指示文書）に企業機密情報や個人情報が含まれていた場合、それらが OpenAI に取得され、ChatGPT の学習データとして利用される可能性があります。これにより、情報漏洩や詐欺行為、フィッシングなどに用いられる可能性があります。



このリスクを回避するためには、プロンプトに書き込む情報に注意する必要があります。特に、企業機密情報や個人情報は、絶対に入力しないようにしましょう。また、プロンプトに入力する情報は、必ず必要最低限に抑えるようにしましょう。

2) 生成内容の正確性の確認

新たに生成されたテキストの正確性は保証されていません。そのため、生成内容をそのまま業務に用いてしまうと、誤った情報に基づいて業務を進めてしまう可能性があります。

このリスクを回避するためには、生成内容の正確性を複数の文献や公的な機関の発表する情報を用いて必ず確認するようにしましょう。特に、重要な業務に使用する場合は、必ず 2 人以上で内容を確認することをおすすめします。



以上のことから、注意すべき点は以下のとおりです。

- 1) 社外秘情報、個人情報を入力しない
- 2) 生成された文章内容の正確さを確認する
- 3) 第三者の著作物を入力しない
- 4) ChatGPT（OpenAI）の利用規約を遵守する
- 5) オプトアウトを申請する
(入力データが学習データに用いられないようにする)

3 サザンガクからのお知らせ

サザンガクは、令和元年11月にオープンした地域のICT支援拠点です。どなたでもご利用いただける自由なワークスペース「コワーキングスペース」、新規創業や地域進出の拠点となる「サテライトオフィス」、企業の人材不足と働き手をつなぐ場「テレワークオフィス」の3つの機能で、松本エリアのビジネス活性化をめざしています。

サテライトオフィス

デジタル技術分野をはじめとする企業誘致の場として、全16区画をご用意しています。空き状況は、サザンガクまでお問い合わせください。

＜サテライトオフィス使用料 ※税・共益費込＞

- ・個人ブース：月額17,000円
- ・複数人区画：月額43,500円～（区画の規模により異なります）



テレワークオフィス

人手不足でお困りではありませんか？

サザンガクの「テレワークオフィス」は、事業者の皆さまのアウトソース先として、お気軽にご利用いただけます。

- ・登録ワーカー 100名以上
- ・プライバシーマークを取得した万全のセキュリティ体制
- ・業務の内容に応じて専任のディレクターが人材を適切に配置



＜主な受注業務＞

- ・データ入力
- ・データ加工
- ・校正
- ・資料作成
- ・動画作成
- ・広告、バナーデザイン
- ・SNS運用
- ・ECサイト運用
- ・webサイト更新作業
- ・CAD図面作成 etc.



無料託児サービスもございます。
ワーカー登録を希望される方は、お問い合わせください。

小さなお仕事でもすぐに対応いたしますので、まずはお気軽にご相談ください。

コワーキングスペース

コワーキングスペースでは、落ち着いたワークスペースや集中ブース、ミニ会議室、壁面のホワイトボード、リラックススペースなど、様々な働き方をする方それぞれにピッタリな空間を提供いたします。

時間単位でのご利用も可能ですので、ぜひお気軽にご利用ください！

<コワーキング料金表（税込）>

ドロップイン	
2 時間	500 円／学生 250 円
1 日	1,000 円／学生 500 円
定期会員	
一か月	10,000 円（税込）

<コワーキング設備>

- ・Wi-Fi
- ・プリンター複合機（別料金）
- ・モニター貸出
- ・ホワイトボード
- ・シェアキッチン etc.



様々なテーマのセミナーやワークショップ、交流イベントを随時実施しています。今後の予定については、サザンガクホームページをご覧ください。

<4周年記念 サザンガク大感謝祭>

令和5年11月、サザンガクはオープン4周年を迎えました。これを記念し、日頃の感謝を込めたイベント「サザンガク大感謝祭」を11月23日開催しました。昼の部ではマルシェイベント、夜の部ではトークセッション&交流会を実施し、500名以上の方にお越しいただき大変盛況でした！

これからもサザンガクを、よろしくお願いします。



お問い合わせ

〒390-0874 松本市大手3丁目3番9号 サザンガク
電話：0263-33-0339 メール：info@33gaku.jp

4 活動報告

令和5年度中小企業総合展出展事業【報告】（テクニカルショウヨコハマ 2024）

名 称：テクニカルショウヨコハマ 2024（第45回工業技術見本市）
主 催：公益財団法人神奈川産業振興センター、一般財団法人横浜市工業会連合会、
神奈川県、横浜市
会 期：令和6年2月7日(水)～2月9日(金)
会 場：パシフィコ横浜展示ホール A・B・C（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
出展事業者数：807 社
来場者数：18,176 人

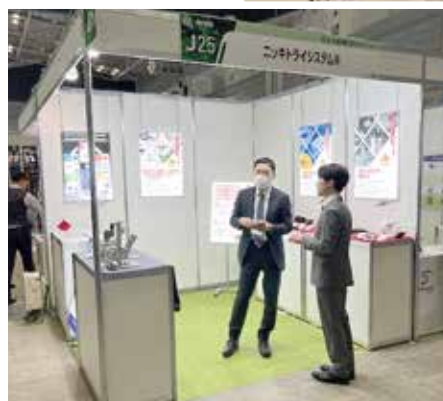
「テクニカルショウヨコハマ」は、最先端の技術・製品が一堂に会する、首都圏最大級の工業技術・製品に関する総合見本市として、出展者・来場者に業界の枠を超えた情報の発信、収集、交流を広範囲に展開し、技術・製品の販路拡大、ビジネスチャンスの創出、地域産業の振興を図ることを目的として開催されています。

本年度は、807 社（昨年 759 社）が出展。主催者発表では 192 社が初めての出展とのことでした。来場者は、3 日間で 18,176 人（前年 15,827 人）でやや増えたものの、コロナ前は例年 3 日間で 30,000 ～ 35,000 人程度の来場者実績のある展示会としては、おおむね 5 割程度の入場者に留まりました。

会場内では、通常展示に加え、カーボンニュートラルや DX など、中小企業等の課題に即したセミナーも開催されたほか、ドローンの実演・体験コーナーが設けられるなど、時代に即した工夫がみられました。

当センターでは、令和5年度中小企業総合展等出展事業（事務局：当センター、共催：松本市、松本商工会議所、松本機械金属工業会）として、4 ブースを確保、有限会社伊藤製作所、シナノカメラ工業株式会社、株式会社関一精機、ニッキトライシステム株式会社が出展しました。

次年度も引き続き出展支援を行う予定です。なお、出展支援対象は松本市内の製造業、もしくは、松本商工会議所、松本機械金属工業会の会員事業所となっております。



5 補助金のお知らせ

ものづくり事業者の皆さんへ様々な助成、補助制度を用意しています。詳細については、商工課工業振興担当までお気軽にお問い合わせください。

中小 地域中核

製造業等活性化支援事業助成金

大学等研究機関との共同研究や新分野への進出等企業の新たなチャレンジを支援します。

- ◇産学共同研究事業・新産業創出事業の場合
助成率 1/2 限度額 100 万円 1 事業 3 回まで
- ◇地域中核企業※が上記事業を行う場合
助成率 2/3 限度額 300 万円 1 事業 3 回まで



中小 地域中核

製造業等販路拡大支援事業補助金

展示会の出展や海外向け EC サイトの開設に際し、その費用の一部を補助します

- ◇国内向け
補助率 10/10 限度額 25 万円
- ◇海外向け
補助率 10/10 限度額 50 万円
- 地域中核企業※の場合は限度額 100 万円



改正

中小

製造業等人材育成事業補助金

人材のスキルアップに係る研修費用の一部を補助します。

- 補助率 1/2 限度額 2.5 万円（人材 1 名につき）
1 事業者合計 10 万円まで



R6 ~
対象となる
研修を拡充！

地域中核

地域中核企業支援事業補助金

地域中核企業※が事務所・工場等々を新・増設する場合、その費用の一部を補助します。

- ◇施設等整備事業
補助率 1/10 限度額 500 万円
- ◇施設等設置事業
3 年間分の固定資産税相当額 限度額なし
（施設等整備事業を活用し取得したものに限り）



ヘルスケアサービス等実用化 検証事業助成金

ヘルスケアサービスに係る実用化検証を行う場合、その費用の一部を補助します。

- 助成率 3/4 限度額 100 万円 1 事業 3 回まで



中小

空き工場等活用事業補助金

市内の空き工場を活用し、製造や新製品開発等を行う場合、賃借料の一部を補助します。

- 補助率 1/2 限度額 96 万円（8 万円 / 月 × 12 か月）



※地域中核企業…地域未来牽引企業、県から地域経済牽引事業計画の承認を受けた企業等

改正

中小

中小企業者社会変革対応促進 事業補助金

経営資源のDX・デジタル化、省エネ化に取り組むために必要な設備を導入する場合、その費用の一部を補助します。

- 補助率 2/3 限度額 30 万円

補助要件を変更
詳しくはHPを
ご覧ください。



中小

外部人材活用促進事業補助金

経営改革※1 のために外部人材※2 の雇用等を行う場合その費用の一部を補助します。

- ※1 新製品・新技術の開発、新分野への進出、デジタル化・脱炭素化の推進等により、企業の成長促進を図ること
- ※2 市外に住所を有し、事業開始前に、補助を受ける事業者による雇用等が行われていない者

- ◇外部人材に係る給与等
補助率 1/2 限度額 90 万円（15 万円 / 月 × 6 か月）
- ◇外部人材に係る滞在費
補助率 1/2 限度額 10 万円
- ※合計 100 万円まで



「地域の人事部」
または、「信州100年企業
創出プログラム」への
参加が必要です！

脱炭素型大規模投資支援事業補助金

ゼロカーボン産業に取り組むために必要な建物の新設・増設・移設、償却資産の取得をするための大規模投資（3 億円以上）を行う場合、その費用の一部を補助します。

- 補助率 対象経費の 3% 限度額 3,000 万円



テレワークオフィス設置支援 事業補助金

松本市に新たに進出し、サテライトオフィスを設置する際、その費用の一部を補助します。

- ◇賃借料補助
①補助率 1/2 限度額 120 万円（10 万円 / 月 × 12 か月）
- ◇施設整備費補助
②改修費等 補助率 1/2 限度額 200 万円
③備品購入費 補助率 1/2 限度額 20 万円
※①～③合計 200 万円まで



企業事務所誘致事業補助金

上場企業等が市内に新たに事務所を設置する場合、その費用の一部を補助します。

- ◇取得の場合
3 年間分の固定資産税相当額 限度額 1,000 万円
（中心市街地の場合、5 年分 4 年目以降 600 万円）
- ◇賃貸の場合
補助率 賃借料の 1/2 限度額 800 万円 3 年間
（中心市街地の場合、5 年分 4 年目以降 400 万円）



お問い合わせ：松本市役所商工課 工業振興担当 / 健康産業推進担当 TEL:34-3270 FAX:34-3008 / TEL:34-3296 FAX:34-3297
〒390-8620 松本市丸の内 3-7 MAIL:shoukou@city.matsumoto.lg.jp / kenkou-sangyou@city.matsumoto.lg.jp

農畜産物販売促進事業補助金

産業力の向上及び地域活性化を目指して、生産及びその加工又は販売を一体的に行い、農産物の付加価値を高める取組みに対し、補助金による支援を行います。審査会委員には、販売戦略や販路開拓等さまざまな分野の専門家を招聘し、支援体制を強化しています。

「松本市地産地消推進の店」になることで、農業者以外の皆様もご活用いただける制度です。

補助対象者 (1)農業者、農業者で組織する団体又は農地所有適格法人
(2)市内で農産物直売所を経営する者
(3)松本市地産地消推進の店として登録された事業者

商品開発

補助対象経費：新たな商品開発に要する経費
(研究開発費、モニタリング費、パッケージ開発費)

補助率 1 / 2 上限額 100 万円

販路開拓 (対面)

補助対象経費：県外及び海外における販路開拓のための物産展への出展、直売所交流に要する経費
(出展負担金、デザイン費・印刷費・資材費・広告費・輸送費・旅費・装飾品借上料・筆耕翻訳料等)

補助率 1 / 2、出展負担金は 10/10 上限額 国内 25 万円、海外 50 万円

販路開拓 (Eメール 利用型)

新たにECモール（複数の事業者が出展又は出展している集合型のECサイト）へ出展し、地元農畜産物又は地元農畜産物を使用した加工品を販売することに要する経費
(ECサイト運営会社に支払う利用料及び手数料、撮影委託費、文章作成委託費・SEO対策)

補助率 1 / 2 上限額 20 万円

販路開拓 (Eメール 構築型)

地元農畜産物又は地元農畜産物を使用した加工品を販売するECサイトを新しく構築することに要する経費
(ECサイト構築費・利用料、撮影委託費・文章作成委託費・SEO対策費)

補助率 1 / 2 上限額 30 万円

お問い合わせ：松本市役所産業振興部農政課 〒390-8620 松本市丸の内3番7号 TEL:34-3221

6 研究開発室(205号室)入居者募集のお知らせ

一般財団法人松本ものづくり産業支援センター

一般財団法人松本ものづくり産業支援センターでは、
当センター2階研究開発室(205号室)の入居者を募集します。

- (1) 所在地
長野県松本市和田 4010-27
- (2) 募集対象区画
2 階 205 号室 (52㎡) 1 室
- (3) 使用料
月額 80,080 円及び共益費 5,000 円
(いずれも消費税込み)
光熱水費は実費負担

※入居条件等詳しくは、下記までお問い合わせください
一般財団法人松本ものづくり産業支援センター
〒390-1242 長野県松本市和田 4010-27
電話 0263-40-1000 FAX0263-40-1001
E-mail : info@m-isc.jp



センターNEWSやメールマガジンのお申し込みはこちらから



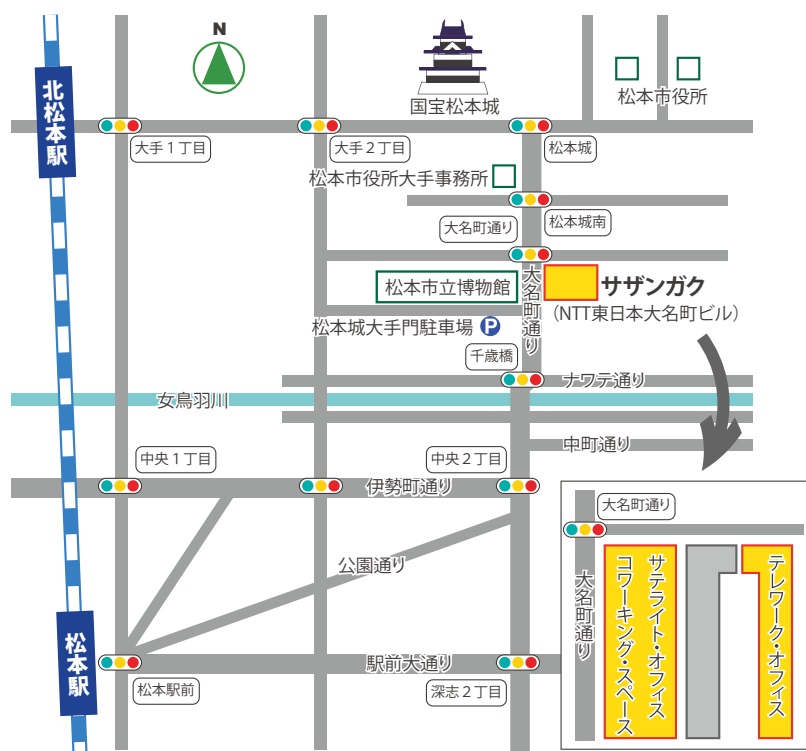
一般財団法人

松本ものづくり産業支援センター

〒390-1242 長野県松本市和田 4010-27

☎ 0263-40-1000 FAX : 0263-40-1001

HP : <https://www.m-isc.jp/>



コワーキングスペースのご利用案内

開館：平日 午前 10 時～午後 7 時

ご利用料金：(税込)

ドロップイン 500 円／2 時間

1,000 円／日

月会員 10,000 円／月



サザンガク

matsumoto collaboration space

〒390-0874 長野県松本市大手 3-3-9

☎ 0263-33-0339 FAX : 0263-33-0305

HP : <https://33gaku.jp/>

□ コワーキングスペース □ サテライトオフィス
□ テレワークオフィス

松本ものづくり産業支援センター NEWS
第 12 号 (令和 6 年 4 月)
発行 / 松本ものづくり産業支援センター
印刷 / アサカワ印刷株式会社